

自然の恵みと災害の脅威 持続可能な森づくりへの現状と課題



NPO法人 みのお山麓保全委員会 2024.11.10



～自然災害の歴史、ハード整備や植樹などの
保全活動、さまざまな課題について～

1、箕面の自然の恵みと自然災害の歴史

2、行政による災害復旧の事業

市民による自主的な活動

3、さまざまな課題と協働の取り組み

箕面の森林面積 約2,405ha(市域の約50%)

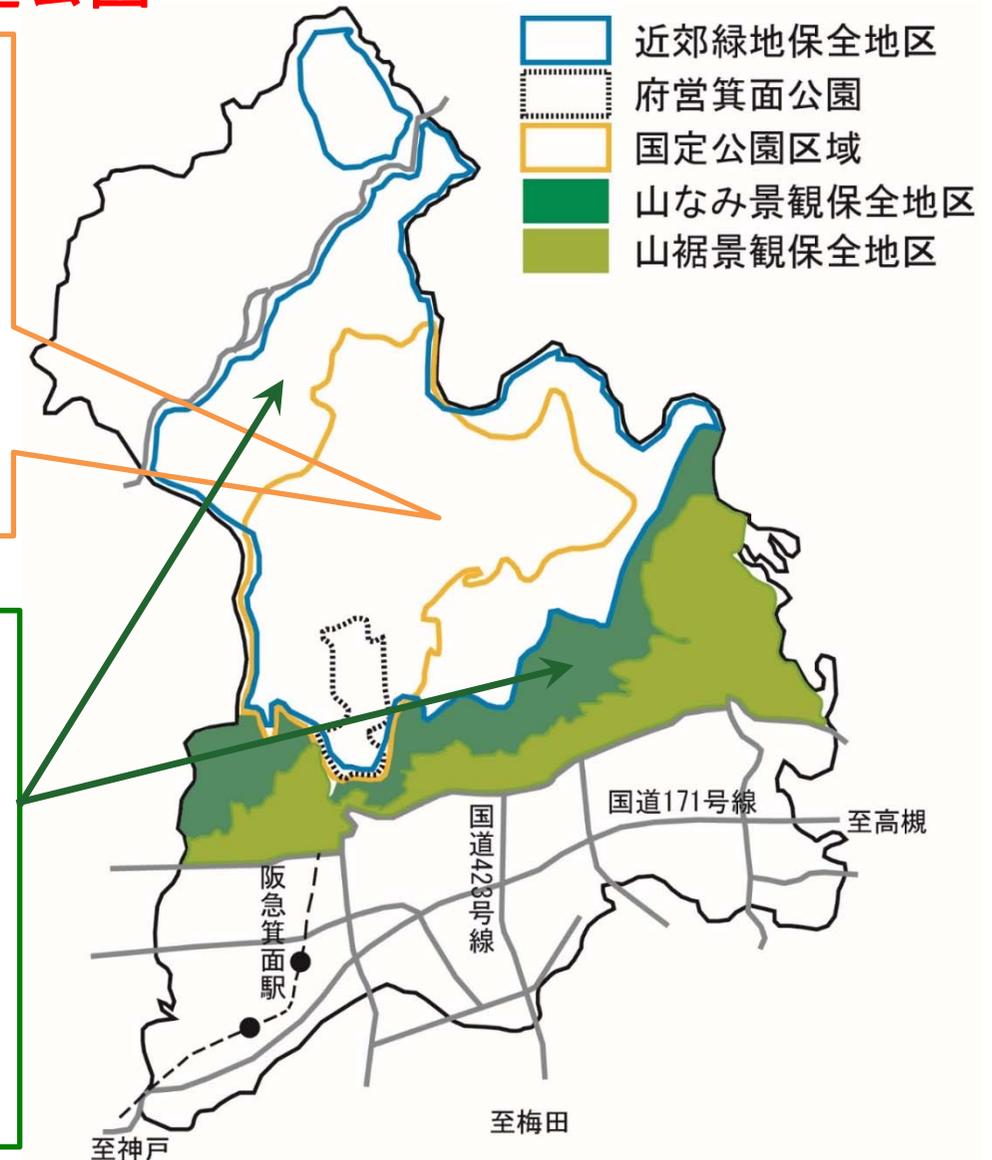
森林面積のうち、約40%が国定公園

明治の森箕面国定公園

- ・・・約963ha(約40%)
- ※国有林:約567ha(約59%)
- ※箕面公園(府):約84ha
- ※こもれびの森(市):約55ha
- ※その他(私有林・ダム等):257ha

国定公園以外の森林

- ・・・約1,442ha(約60%)
- ※山なみ景観保全地区:約380ha
平成10年箕面市都市景観保全条例
8割が私有林(約370人の地権者)
- ※その他(私有林・ダム等):257ha
- ※市有林(教学の森69.4haなど)



豊かな自然の恵み

大阪のベッドタウンである箕面の魅力

箕面の森は、四季折々に美しい山なみ景観の他、大気の浄化、水源かん養、レクリエーションの場になるなど、大切な役割を果たしており、私たちに好ましい生活環境を与えてくれています。

地域の活力の源

箕面大滝と急峻な渓谷美、明治の森箕面国定公園に代表される身近で豊かな自然を求めて、外国人を含めた多くの観光客や行楽客が来訪し、地域の活力の源になっています。

1. 自然の恵みと災害の脅威

○自然の恵み（大阪のベッドタウンとしての魅力と地域の活力の源など）

○自然災害（風水害や土砂災害など）の脅威

※昨今の大型台風の発生や短時間強雨の増加
気候変動による気象の極端化に起因する
風水害や土砂災害のリスクが増大

自然災害の脅威と上手に向き合って暮らしていくためには・・・

→地域を理解する

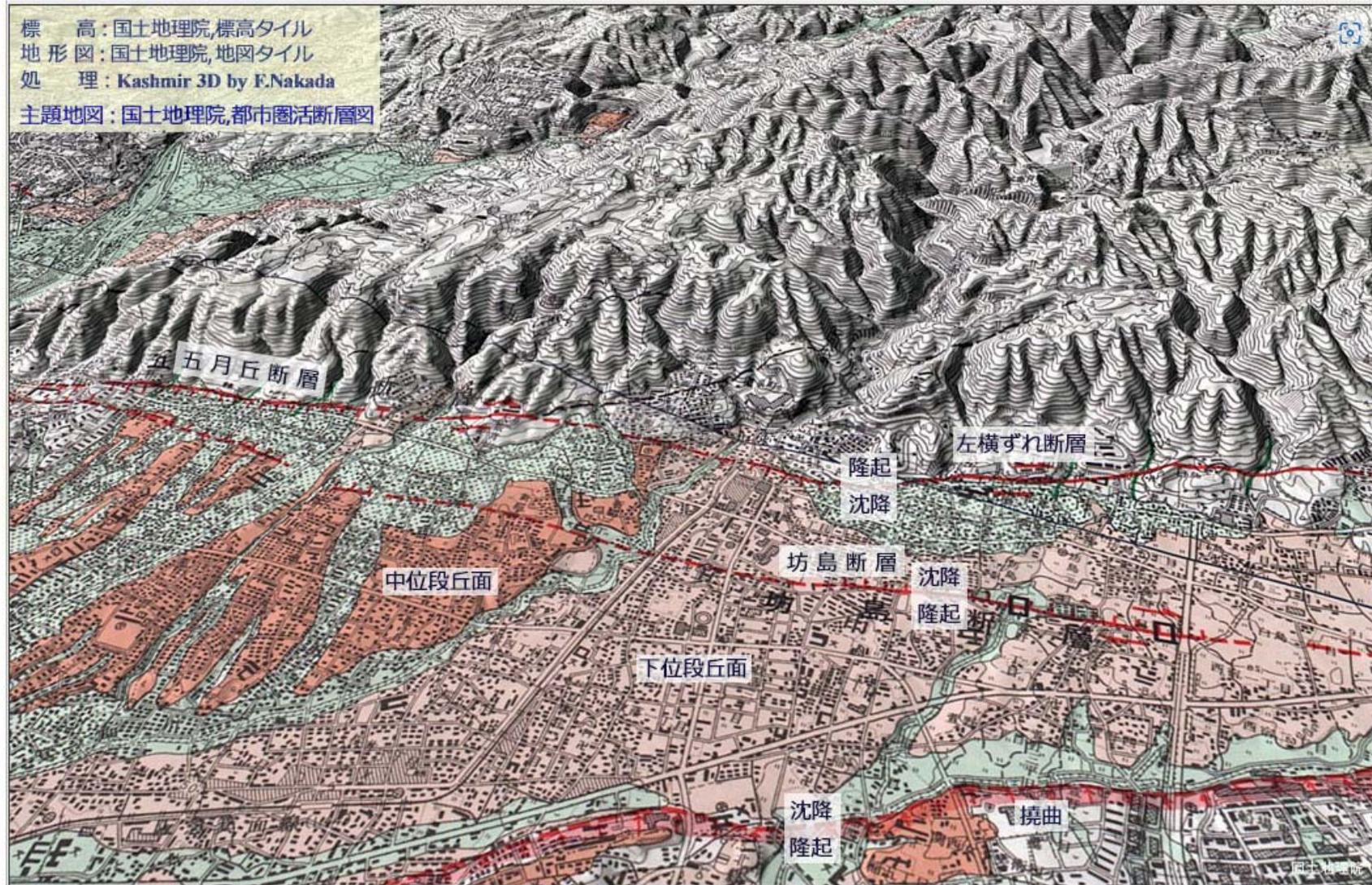
○箕面の地形や地質を知る

断層が多く、傾斜 30° 以上の崩れやすい地形

○過去の災害の歴史を知る

台風や河川の氾濫や土砂崩れなどが何度も発生し人命や財産を奪われる被害を経験

地域の特徴



断層が多く、崩れやすい地形 出典：国土地理院ウェブサイト

石碑で見る 箕面の自然災害の歴史

1950年(昭和25年)9月3日 ジェーン台風
災害復旧の石碑



箕面市内では、全壊
38戸、半壊32戸など
の被害

当時の新聞では
「箕面公園の相貌変
る」と報じられた。

右の石碑

これより名勝箕面山

箕面1丁目(ネイチャールーム前)に残されている石碑

石碑で見る 箕面の自然災害の歴史

1951年(昭和26年)7月11日

北摂豪雨

水害 救助活動中に殉職

箕面町警察署長

合田百一さんの石碑

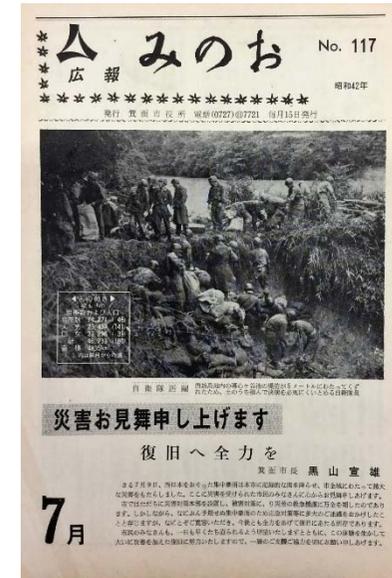


府営箕面公園内に残されている石碑

石碑で見る 箕面の自然災害の歴史



1967年(昭和42年)7月9日
の集中豪雨(北摂豪雨)
1日雨量255mm
幼児や消防団員など4名が死亡



導心ヶ池の堤防に土囊を
積んで 決壊を食い止める自衛隊員

白島取池に残されている記念碑

2017年10月 台風21号

府営箕面公園での土砂崩れや倒木被害

総雨量:118mm 大雨と暴風

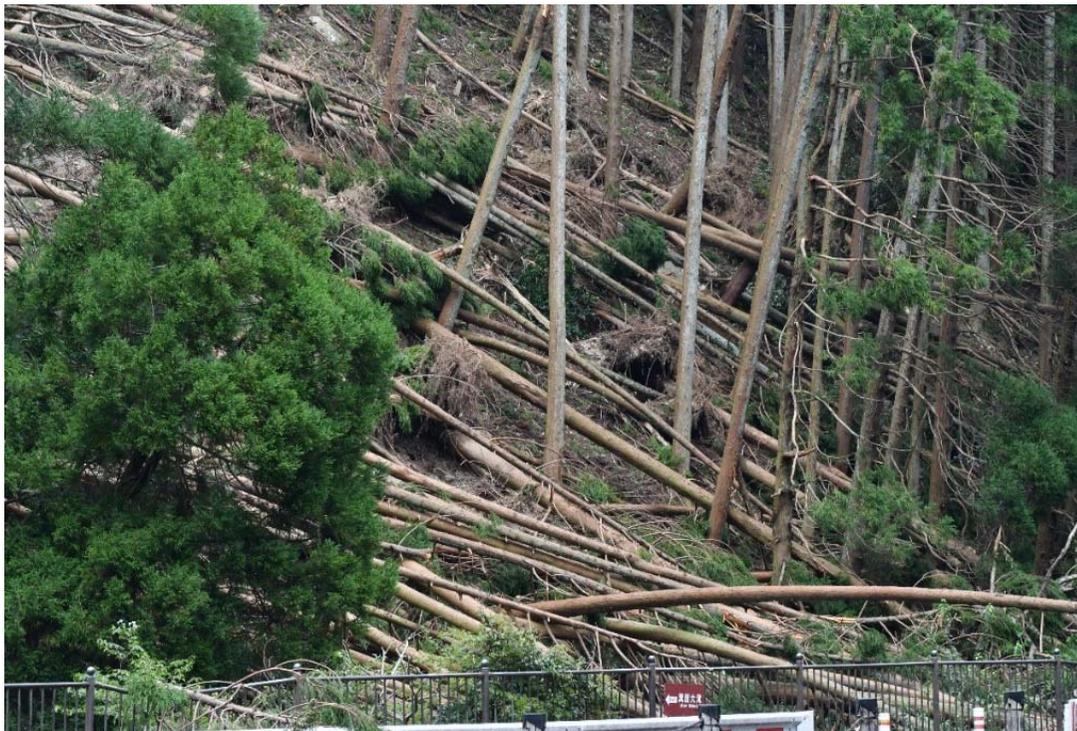
滝道の通行止 ※2017年10月22日～2018年10月30日



2018年9月台風21号

明治の森箕面国定公園 大滝上(大日)駐車場周辺

スギ・ヒノキの人工林の倒木被害



2018年9月台風21号による倒木被害



瀧安寺本坊屋根の倒木被害



ウツギ谷 倒木・路肩の崩壊



府道沿い 勝尾寺近く



清水谷



2, 行政による災害復旧の事業

1982年 水害を防ぐ箕面川ダム

1967年(昭和42年)の集中豪雨(北摂豪雨)の後自然景観や環境に配慮したロックフィル式の治水ダムが完成
1982年(昭和57年)





府営箕面公園 斜面・路肩の復旧

2017年10月24日～2018年10月31日まで

約1年間、滝道通行止め



2018年9月台風21号による倒木被害

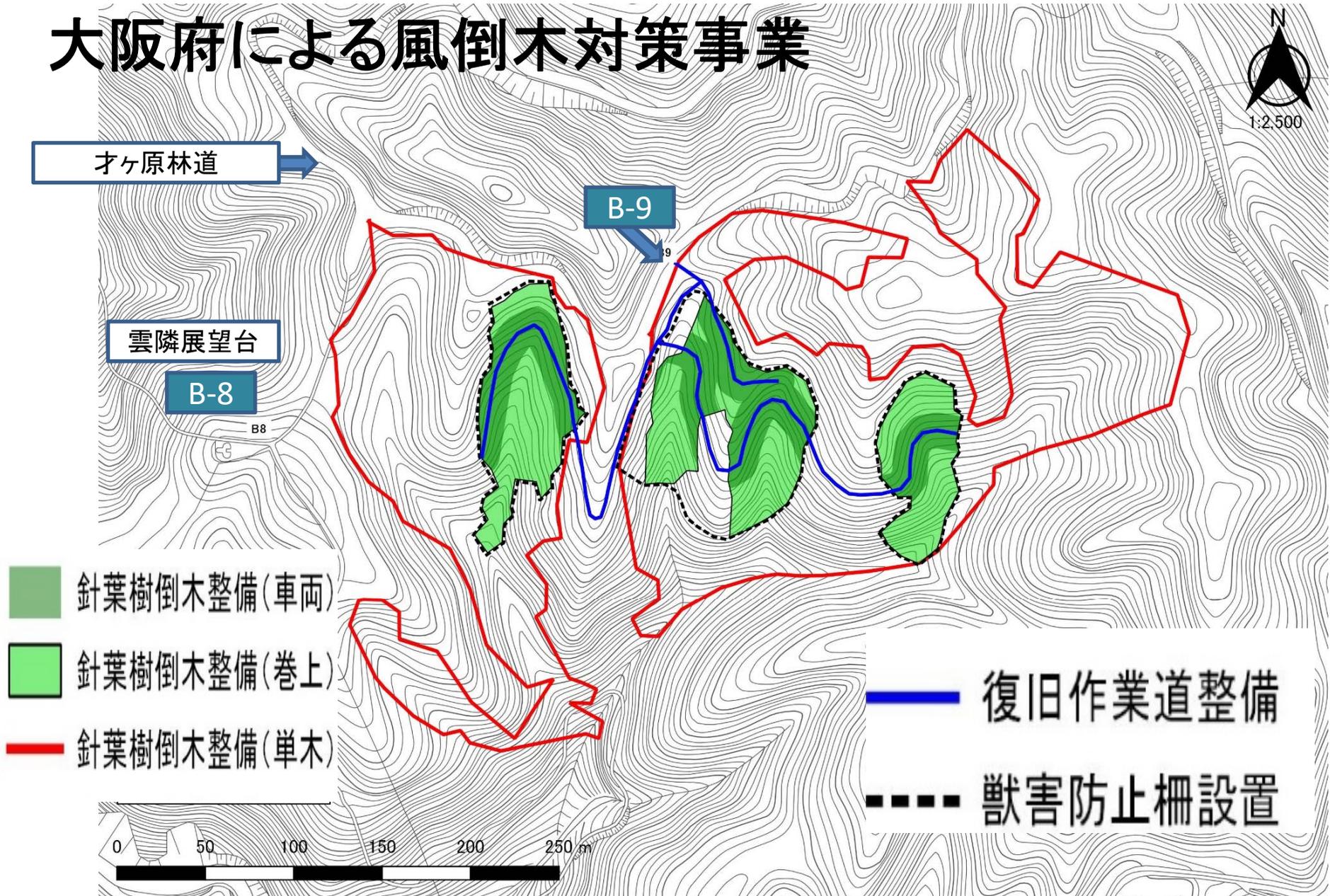
明治の森箕面国定公園 大滝上(大日)駐車場周辺)



ヘリコプターで倒木を撤去(林野庁)

こもれびの森 大阪府による風倒木対策事業

期間：2019年8月～2020年1月8日



作業道を作って、倒木を撤去(大阪府)



大阪府による風倒木対策事業

期間：2019年8月～2020年1月8日

風倒木被害地面積≒7ha（全損≒1.5ha）

- ・作業道（≒1000m）を設置して、風倒木を撤去
- ・対策地にはシカ害防護柵を設置（≒1,350m）



シカ害防護柵を設置



2、市民による自主的な活動

こもれびの森での活動



- ①生活環境保全林＝「**保健休養林**」＋「**土砂災害防備保安林**」として指定されている機能向上
- ②箕面市有地（約54.9ha）であり、箕面市と市民や協議会が協力する「**協働**」の取り組み
- ③活動対象エリアは、放置すると災害のリスクが高い**防鹿柵内外の作業道**（≒1000m）中心

※活動を進めるための財源（箕面の山災害復興募金）

こもれびの森の活動

2020年3月15日

市民が中心となって、市民の森として地域で支える

柵外のハイキング道などでは、シカ除け対策を行いながら、市民の憩いの場になるように、ヤマザクラなど花の咲く樹木の植樹。

2020年：イロハモミジ53本、ブナ科の苗木30本など、計83本植樹



単木用の防鹿ネットを設置

2023年3月12日

こもれびの森の活動

2023年：シカが嫌いなミツマタ50本（2022年の50本に続き）、アセビ30本を植樹、その他、カマズミ、ムラサキシキブ、タニウツギ各10本とエノキ15本など47本を植樹



ミツマタ



アセビ



こもれびの森 金柵内外の植生調査

2021年6月5日



防鹿柵の外↑で、確認された種は 6種

センダン、ナンキンハゼ、アセビ、ヒサカキ、マツカゼソウ、オオバノイノモトソウ。全て、シカが嫌いな植物。

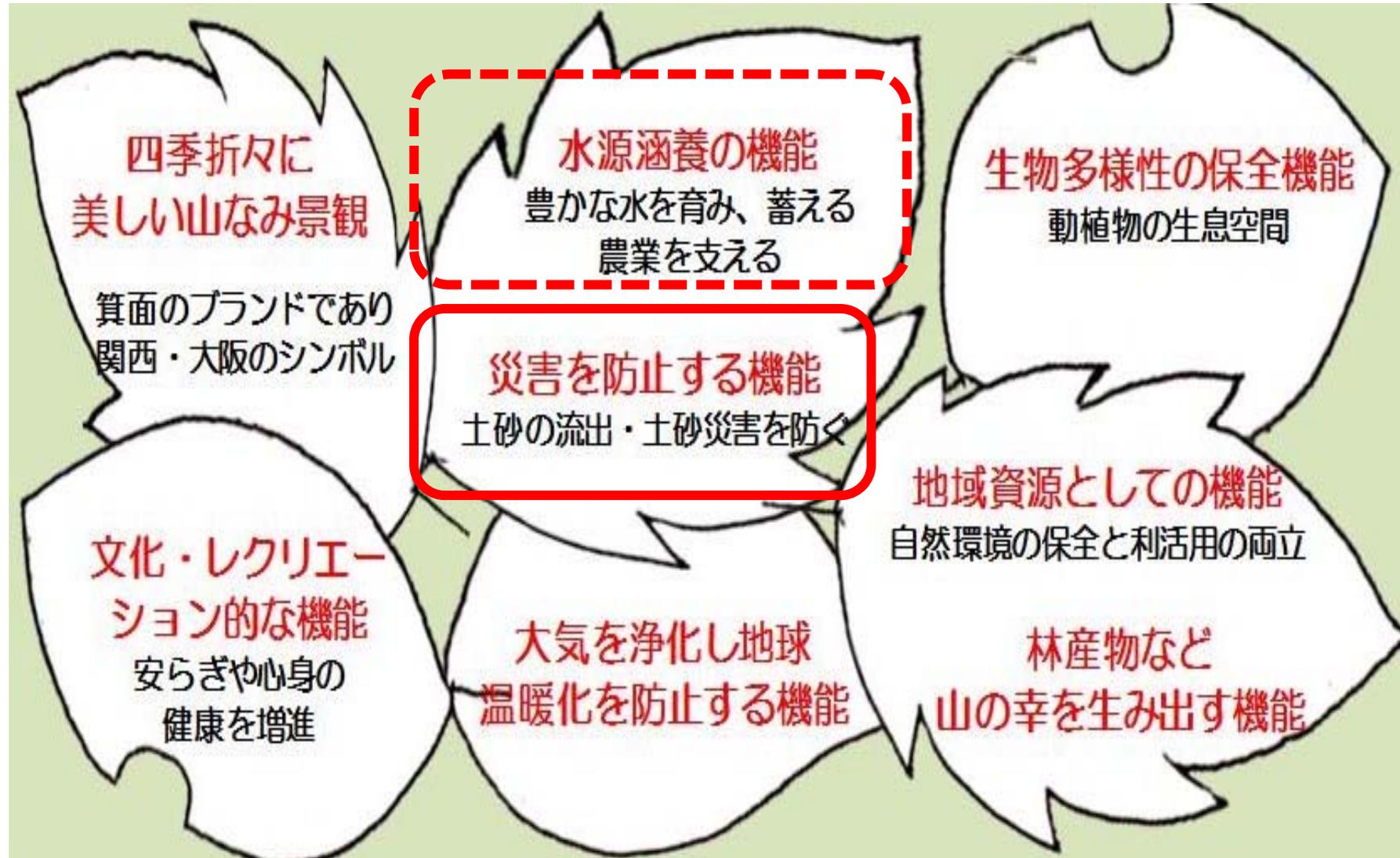
確認した先駆種(パイオニア植物/木本)

- 1, カラズザンショウ(落葉・高木)、
- 2, アカメガシワ(落葉・高木)、
- 3, キリ(落葉・高木)、
- 4, タラノキ(落葉・低~小高木)、
- 5, ヌルデ(落葉・小高木)の5種

オケ原林道沿いの金柵を通して柵内を観察しただけで、計50種を確認

3、さまざまな課題と協働の取り組み

目標：森林が持つ機能を 最大限発揮





3. さまざまな課題と協働の取り組み

森林が持つ機能、土砂の流出・土砂災害の防止
や水源かん養機能を最大限発揮するために・・・

○過去の災害の歴史を知り、自分が住んで
いる地域の特性を理解 ※ハザードマップ

○大型台風や線状降水帯の発生による河川
の氾濫、土砂災害などの災害リスクを直視

○協働の取り組みによる多様な対策実施

里山の今日的な課題



①人の手が入らなくなったことによる問題

かつては、農業や生活と結びつき
人の手で管理・活用されていた箕面の里山

化学肥料の普及、ガス・電気の普及、住宅開発
ライフスタイルの変化

里山が農業や生活において必要とされなくなり、
利用されなくなったことにより、入会が衰退し、
管理がされなくなり、さまざまな問題が・・・

私有林/山林所有者の悩み

山林所有者の“なやみ”が少しでも解決できるようにお手伝いをします。
箕面の山林をお持ちの方へ
お気軽にみのお山麓委員会にご連絡ください。

山林所有者の “なやみ”相談

大雨が降ると、山が崩れないか心配ですね。



自分の山がどこにあるか、ご存じでしょうか？

みのお山麓委員会では・・・

山麓保全活動助成金のご案内をしています
境界確認のお手伝いをしています。
山の手入れのボランティアを派遣しています。

山麓保全活動助成金を申請して、山の手入れをしましょう！

2021年度、山林所有者の助成申請83件のうち、半数以上の51件の山林所有者が「山林整備サポート要請」をされました。

助成金を申請して、「サポート要請」をされると山林整備ボランティアが、山林所有者に代わって、山の手入れのお手伝いをすることが出来ます。

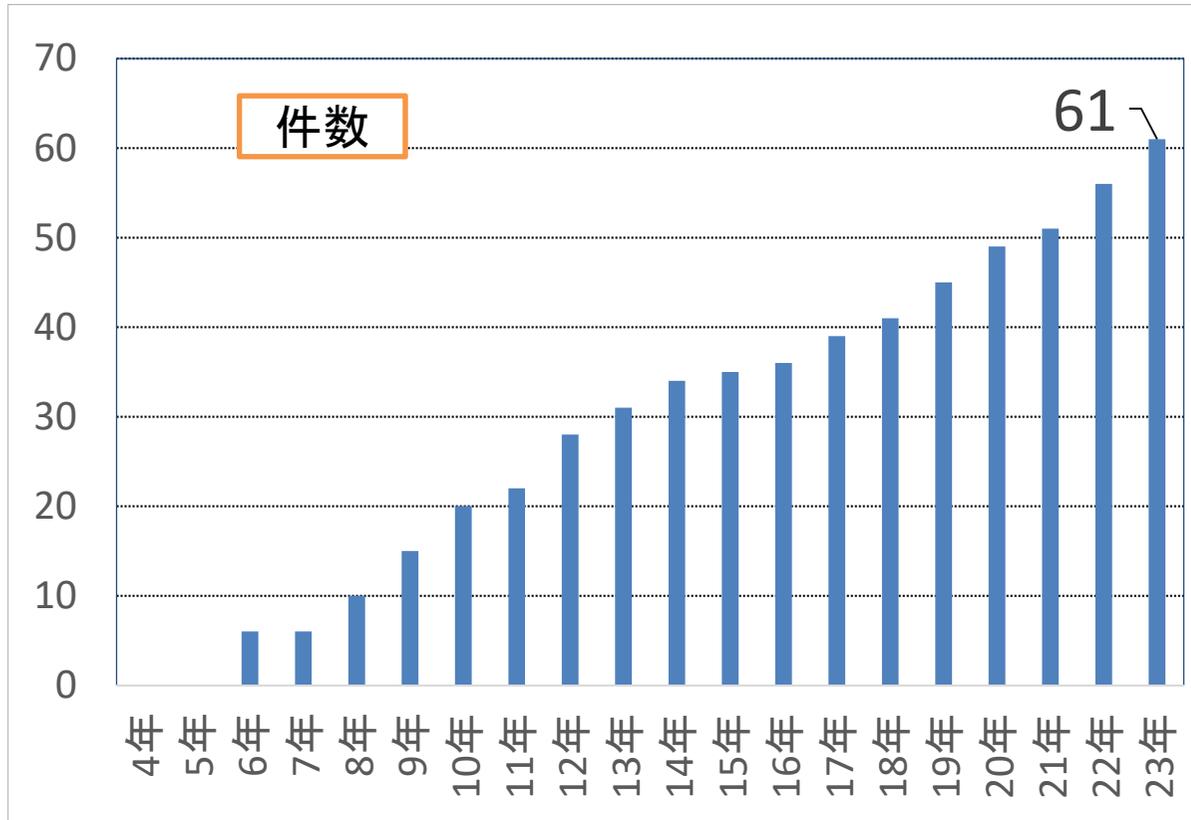
NPO法人 みのお山麓保全委員会
住所：箕面市箕面6丁目3番1号 みのおサンプラザ1号館2階 211号室
電話&FAX:072-724-3615 携帯電話:090-1133-3615(事務局)

NPO法人みのお山麓委員会は、「みのお山麓保全活動助成金」の募集、申請業務などの他、保全活動の相談や支援などを行っています

- 勝手にゴミを捨てられるので困っている
- 自分の山がどこにあるか分からない
土地の境界をはっきりさせておきたい！
- 高齢なので山の手入れに行けない
- 遠くに住んでいるので山に行けない！
- シカやイノシシが多くて困っている
- 大雨が降ると土砂崩れがおきない
か心配
- 山を売りたい、寄付したいけど
どうした良いかわからない

私有林への山林整備ボランティアの派遣

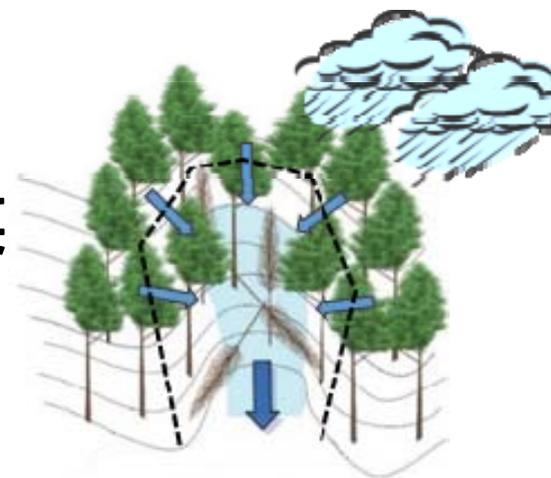
2023年は61件の派遣要請/591人が活動に参加



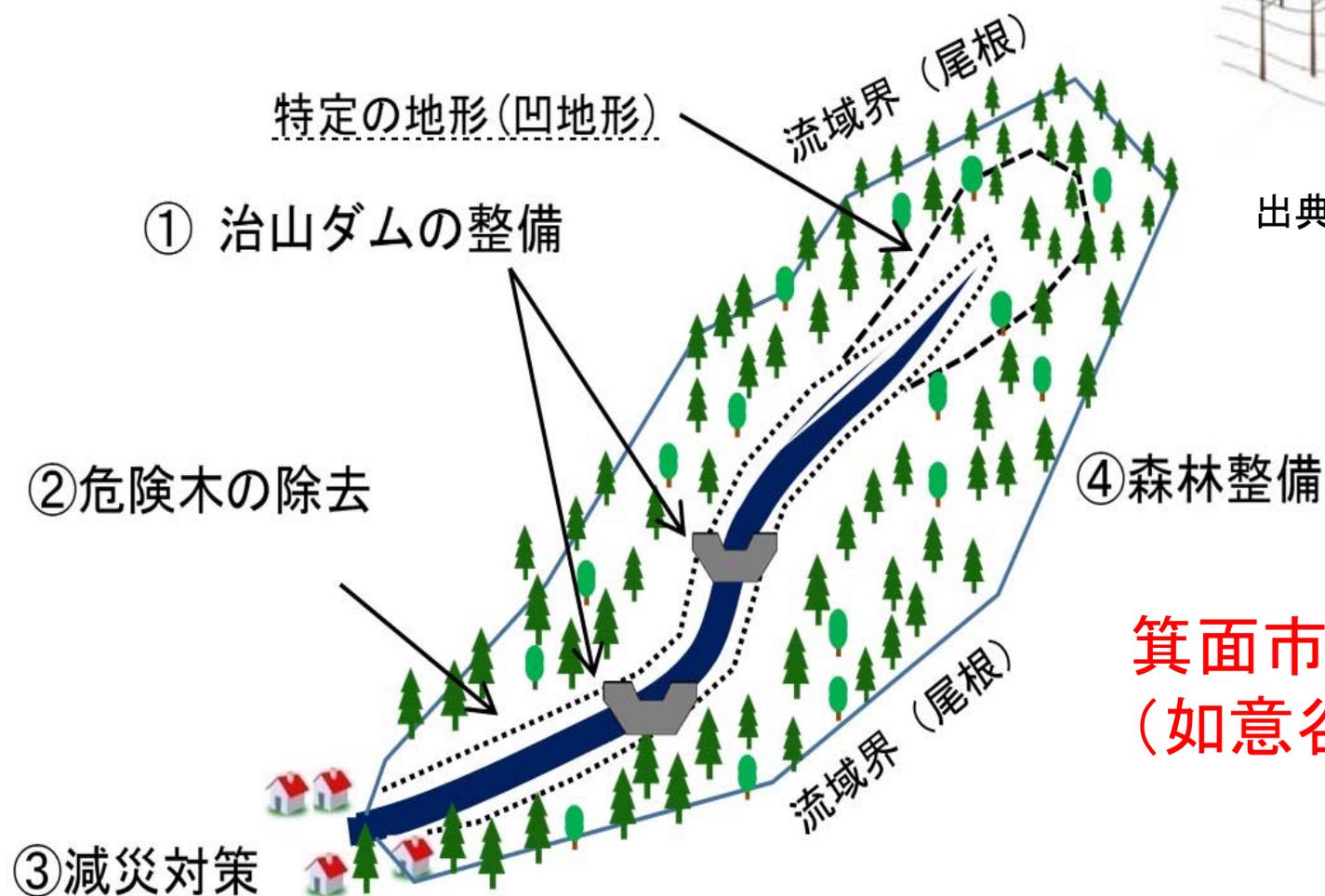
主に**倒木処理**：倒木は適当な長さに玉切り
斜面の土留めとして、等高線方向に横置き

危険溪流の流木対策事業

大阪府の森林環境税を活用した事業



出典:大阪府HPから



箕面市内2ヶ所
(如意谷・新稲)

溪流沿いの流木対策

ウツギ谷沿いの人工林は、2018年台風で倒木が発生。下流に民家があり、危険木除去などの対策を実施して、自然災害のリスクを減らすべきでは！



ウツギ谷(上箕川上流)の溪流沿い・・・周辺は私有林



②増えすぎたシカの問題

○森の手入れをして、林床に光が入り
下草が生えて来ても、シカに食べられてしま
う。

○下層植生が貧弱なままなので、土砂の流出
などの恐れがある。

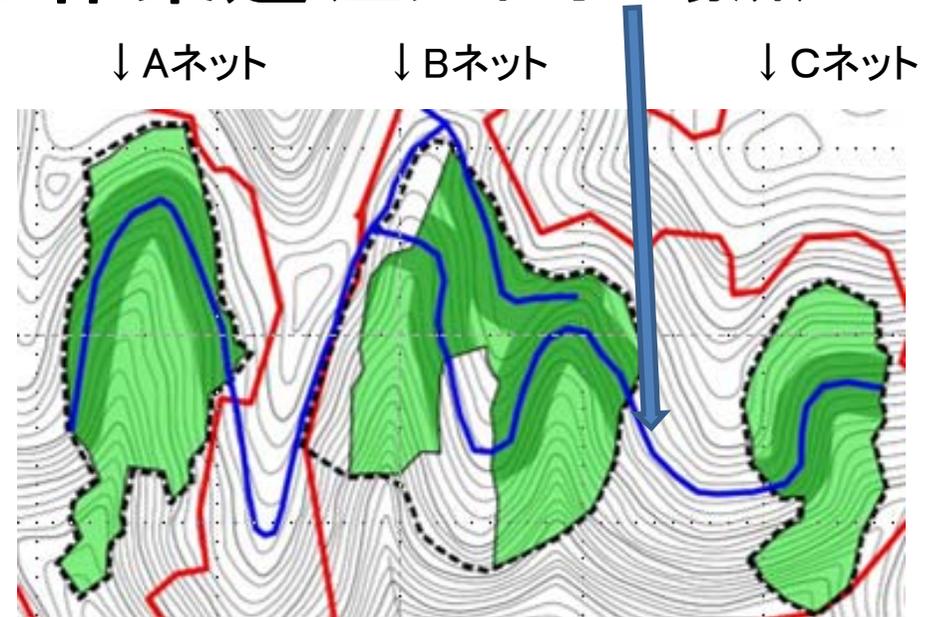
シカの頭数管理を行わないと

災害を防止する森林の機能が発揮できない。



こもれびの森、防鹿柵外 作業道の裸地化と斜面の崩落

B⇔Cネット間の作業道(立入不可の場所)



syokunyu



こもれびの森、防鹿柵外の斜面 作業道の裸地化と斜面の崩落

防鹿柵外の作業道、シカの侵入を防止できず
2024年植樹の苗木44本、ほぼ全滅



クヌギの植樹



シカ侵入防止

森林が持つ機能、土砂の流出・土砂災害の防止
や水源かん養機能を最大限発揮するために・・・

※捕獲しても頭数が横ばい状態の中で・・・

①シカが嫌いな樹種の植樹

実績のあるミツマタやアセビに加えて
ウリハダカエデの植樹を実験中

②防鹿柵・単木用の防鹿ネットの設置

③作業道が崩落した斜面の復旧

こもれびの森(市有林)

※箕面市としての課題

斜面緑化の検討



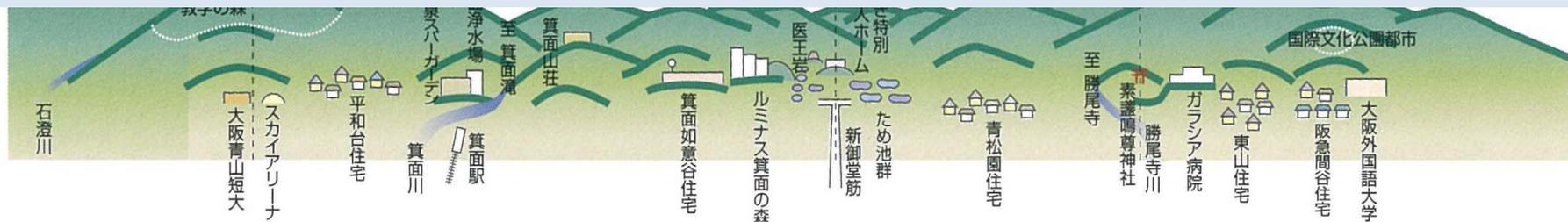
箕面の森林を保全するための法や条例の指定

- S31(1956) 箕面公園・・・文化財保護法による「**名勝**」指定
- S39(1964) 箕面公園・・・都市計画法による「**風致地区**」指定
- S42(1967) 山間部・・・自然公園法による「**明治の森箕面国定公園**」に指定
- S43(1968) 山間部・・・近畿圏整備法による「**近郊緑地保全区域**」に指定

- H3(1991) 都市景観基本計画策定
山麓部の景観保全の重要性を位置づけ
- H10(1998) 山麓部を都市景観条例による「**山なみ景観保全地区**」に指定
- H14(2002)
山麓保全アクションプログラム策定
山林所有者・市民・行政の「**三者協働**」による保全策を位置づけ

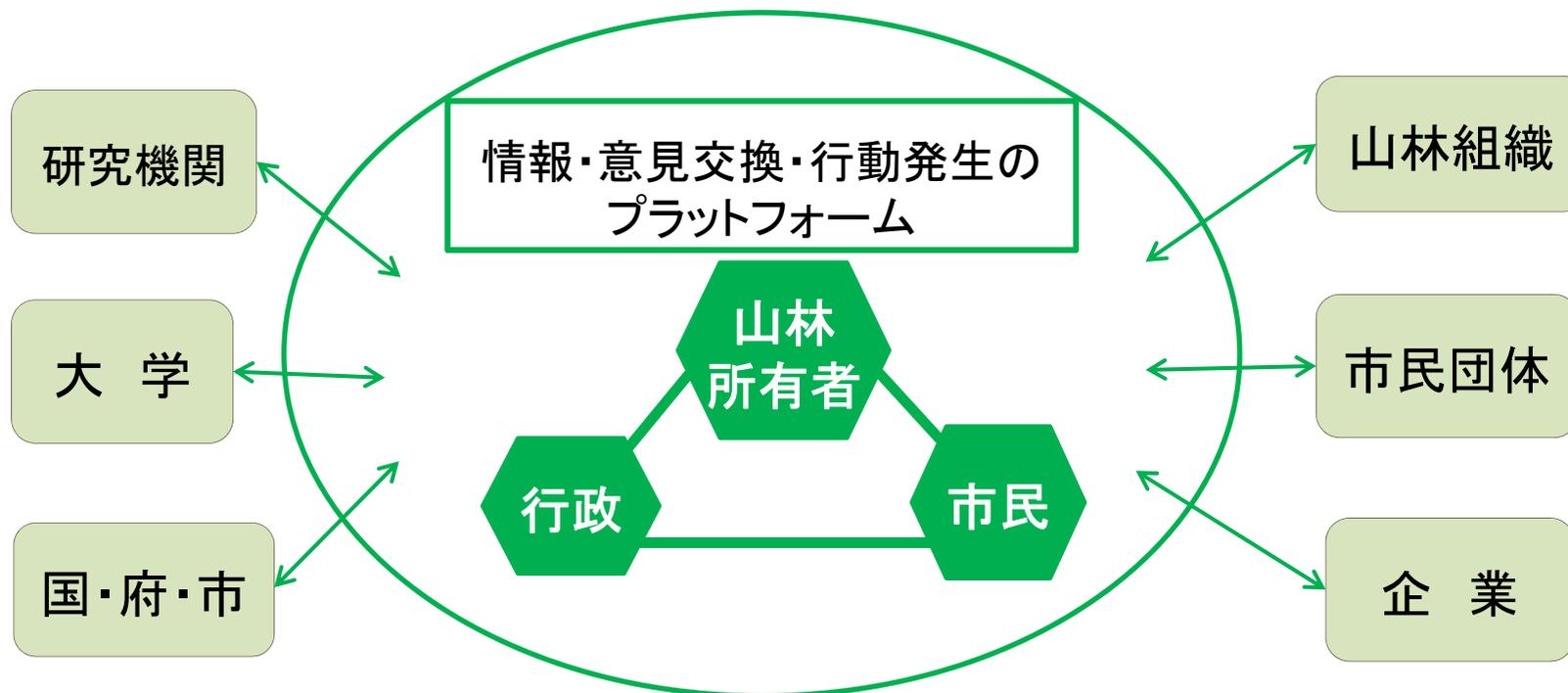
- H15(2003) **NPO山麓委員会**発足
山麓保全活動をコーディネートする組織として活動を開始
- H16(2004) **公益信託「みのお山麓保全ファンド」**創設
山林所有者や市民等による山麓保全活動の支援を開始
- ※H22(2010) 都市景観条例改正
「山すそ景観保全地区」指定

◇市民アンケート・・・緑を守っていくべき・・・約98%



(NPO法人みのお山麓保全委員会)

山麓保全を推進する中間支援組織



山麓委員会は山麓保全を推進する組織として、山林所有者や市民団体の活動を支援する「**みのお山麓保全活動助成金**」の交付のほか、情報・意見交換・行動発生のための**ネットワーク**を活かした協働事業、**山林所有者の悩み相談**に関わる事業、**PR・広報事業**、**人材や組織の育成**に関する事業などを行っています。

行政(国・府・市)、市民、山林所有者など、 立場の違う主体による「協働」の取り組み

同じ目標に向かって、意見交換や情報の共有化を
図りながら、各主体が自主的な活動を行う

- ①資金面での活動支援(山麓保全活動助成金や寄付)
- ②立場の違う主体をつなぐ中間支援組織(NPO法人
みのお山麓保全委員会)
- ③情報の共有化や意見交換による自主的な行動発生
の場(明治の森箕面自然休養林管理運営協議会)

箕面の自然の恵みと災害 持続可能な森づくりへの 課題と現状について

ご清聴ありがとう
ございました！

